

2023年10月6日  
イオン九州株式会社

梓にとらわれない美術館 アートを身近に

**「イオン佐賀大和美術館」第6弾 PICFA展**

～描いている、生きている～

2023年10月12日（木）から11日間開催

イオン九州株式会社が運営するイオンモール佐賀大和（住所：佐賀市大和町 店長：川上 淳文）は、「イオン佐賀大和美術館」第6弾として「PICFA（ピクファ）展」を10月12日（木）から10月22日（日）の11日間開催いたします。

イオンモール佐賀大和は、“まだ知られていない佐賀の魅力を世界中の人々へお届けするウェブマガジン『SAGARICH』”との協同で、佐賀発のアートを通じて人々を繋ぐプロジェクト『イオン佐賀大和美術館』を2019年8月から開催しています。

第6弾となる今回は、日本初のアート活動を基盤とした病院内にある障がい者就労支援施設「PICFA」に在籍する20名の作品を展示いたします。PICFAは、2017年に佐賀県基山町にて350年続く医療法人清明会きやま鹿毛医院内に開所された就労継続支援B型の障がい者施設です。絵画・デザイン・ライブペイント・壁画・ワークショップなどの創作活動を軸に、利用者の創作活動が「アート」だけではなく「人生」にも広がるようにとグローバルに活動されています。

10月15日（日）には、PICFA在籍の3名が即興で6mもの巨大キャンバスに絵を描く“ライブペイント”を実施いたします。アートが生まれる瞬間をぜひ間近でご覧ください。

イオンモール佐賀大和は、「イオン佐賀大和美術館」の企画を通じて、佐賀の人々が紡ぎだすさまざまなアートを発信し、アートで人々が交流するプラットフォームを目指した新しいショッピングセンター創りに継続して取り組んでまいります。

**◆◆イオン佐賀大和美術館 第6弾 PICFA展◆◆**

場 所：イオンモール佐賀大和（佐賀県佐賀市大和町大字尼寺3535）

専門店街アートストリートおよびセントラルコート

**【アート作品展示・販売】**

期 間：2023年10月12日（木）～10月22日（日）10:00～19:00 ※最終日17:00まで

展示作品：PICFAに在籍する20名の作品やその他200点以上のアート

**【ライブペイント】**

日 時：2023年10月15日（日）11:00～16:00

内 容：セントラルコートに設置された6mもの巨大キャンバスに

PICFA在籍の3名のアーティストがその場で絵を描きます。

◆SAGARICHについては、こちらから <http://sagarich.jp/>◆PICFAについては、こちらから <https://picfa-shop.jp/>

AEON × SAGARICH

感性?

多様性?

とととと



描いている、

生きている

PICFA(ピクファ)の  
作品200点以上が  
一堂に集結!!

PICFA20名の作品を展示。  
作品は購入OK!  
グッズの販売もあります!



イオン佐賀大和美術館

# PICFA展

10/12(木)~10/22(日)

作品展示スペース営業時間 10:00~19:00(最終日17:00)  
作品販売営業時間 10:00~19:00

入場無料

イオン佐賀大和店

専門店街アートストリートおよび  
セントラルコートでの作品展示

- 10月15(日)11:00~16:00  
PICFAのアーティスト3人による  
即興で描くライブペイントを開催!  
お気軽にご覧ください!

# Concept

枠に囚われない イオン佐賀大和美術館・第六弾～PICFA展～10/12 OPEN

イオン佐賀大和美術館 第6弾PICFA展へようこそ!

「描いている、生きている。感性?多様性?カオス?」が今回のテーマです。現代社会では、SNSの普及により、個性を自由に表現することが容易になった一方、異なる意見を述べるのがリスクを伴い、多くの人が自分の本当の感情やアイデンティティを隠すようになっています。しかし、私たちは個性が尊重されるべき時代に生きていると思います。異なるバックグラウンドや視点から生まれるアイデアこそが、素晴らしいものにつながると信じています。

今回のアート集団PICFAは、まさにこの考え方を体現しています。彼らの作品は感性の多様性を認め、カオスの中から美しいアートを生み出しています。この展示を通じて、皆様には自分自身の感性を解き放って欲しいです。ぜひお楽しみください。

SAGARICH編集長 山口賢人



PICFA ART LINEUP



Girl with Glasses

篠崎 桜子  
画材:紙にアクリル  
455×380mm



ヘンショクオチバ

本田 雅啓  
画材:紙にアクリル  
455×380mm



3人むすめかんぱい

安永 憲征  
画材:紙にマジックとアクリル  
530×380mm



Winter Roes

東島 ゆきの  
画材:紙にアクリル  
455×380mm

その他  
200点以上の  
アートが  
集結!

# PICFA

ピクファ

2017年7月に医療法人 清明会きやま鹿毛医院内に障害福祉サービス事業所としてオープン。施設形態は、就労継続支援B型で施設内に絵を描くことやデザイン、アート作品の制作を「お仕事」として位置付けている。「アート」だけではなく「人生」にも広がるよう、活動の幅を広げており、現在、メンバー(利用者)20名が在籍。企業とのタイアップなどを積極的に行い、LAWSONのからあげくんパッケージデザインやチャンネルシティーOPAのリニューアルオープンに向けての巨大絵画制作、東京のAPARレルブランドや化粧品会社とのコラボ、行政機関などへ挿絵提供など、アートやデザイン、生活雑貨の商品開発、原画販売など、グローバルに邁進している。

PICFA 施設長 原田 啓之 Hiroyuki Harada



イオン佐賀大和店をジャックし、障害者施設の展示会を開催できること、非常に嬉しく思います。今回の展示会では、たくさんの方々と価値観の交換をしたいと思っています。アートとは?福祉とは?をぜひたくさんの方と作品を通して交流したいと思っています。

私には、知的障がいのある兄がいます。障がい児・者の当事者や保護者の背中を見て育ち「福祉とはなにか?」「幸せとは?」を小学生ながらも疑問を持ちながら育ちました。中、高校時代とソフトテニスに明け暮れ、全国大会で優勝やインターハイにも出場しました。テニスで進む人生を考えましたが、兄の「障がい」のことを考えるようになりました。そして、福祉の概念を変えることができないかという思いが強くなりました。今では、福祉の世界で創作活動を仕事にする障害者施設の施設長として日々メンバーと楽しく勤務しています。PICFAの活動、そして出来上がった作品をぜひご覧ください

# EVENT

10/15(Sun)  
【11時 START】

6mのキャンパスに描く  
PICFA 3名によるライブペイント

センターコートに設置された6メートルもの巨大キャンパスに、PICFA在籍の3名のアーティストがその場で絵を描きます!



即興で描く絵がどんな風に完成していくかお楽しみに!



今回のPICFA展においてアトレティコ佐賀様にご購入いただいた【BMW×山口芳水】の限定車代金の一部を、使用させていただきました。ご支援いただき、心から感謝申し上げます。



〒840-0201 佐賀県佐賀市大和町大字尼寺3535  
お問い合わせ: 0952-64-8000

ACCESS

佐賀駅バスセンター7番のりばより昭和バス佐賀営業所行き(イオンモール佐賀大和)に乗車ください。

以上